



## 『みらいへのかけはし』

( ) 小学校(2)年( )組

名前 (ていねいにかきましょう。)

### 学しゅうガイド (小学校2年生 国語)

- (1) 15 ページからの「風の ゆうびんやさん」を 読んでみましょう。  
\*前回の復習です。4分30秒程度で読めたら大いに褒めてあげてください。  
☆32 ページから 33 ページの「かん字の 書き方」は学校が再開して行いたいと思います。
- (2) 学校から送ってきたかん字の練習を進めていきます。  
\*お子さんが線をなぞる前に、急がずじっくりなぞるよう声かけをしてあげてください。
- (3) 36 ページから 40 ページまでの「たんぽぽ」を 読んでみましょう。  
\*この学習では、43 ページの「ことばの力」にあるように「せつめいのじゅんじょ」に気をつけて読むことが大切ですが、この内容については、学校再開後に行いたいと思います。まずは、家の方が範読してあげて下さい。そして、続けて読んでいくように促してください。その際、口形に気をつけて音読できていたら大いに褒めてあげてください。
- (4) たんぽぽを読んで はじめて したことやおどろいたことをおうちの方へ つたえましょう。  
\*子どもの考えに耳を傾けて、「そうだね。」と共感的にきいてあげてください。  
例えば、根が100cm以上もあることや小さな花が180もあることなど  
☆44 ページから 54 ページの内容は学校が再開して行いたいと思います。
- (5) 学校から送ってきたかん字の練習を進めていきます。  
\*お子さんが線をなぞる前に、急がずなぞるよう声かけをしてあげてください。
- (6) 56 ページから 66 ページまでの「名まえを 見て ちょうだい」を 読んでみましょう。  
\*まずは、家の方が範読してあげて下さい。そして、続けて読んでいくように促してください。

(7) 55 ページから 66 ページまでの「名まえを 見て ちょうだい」を読んでみましょう。

\* 「最初に出てきた動物は何かな? どこにいたかな?」と尋ねてあげてください。

「きつねがのはらにいた。」と場所と動物が読めていたら褒めてあげてください。

「次に、出てきた動物は何かな? どこにいたかな?」と尋ねてあげてください。

「うしが はたけにいた。」と場所と動物が読めていたら褒めてあげてください。

## 学しゅうガイド (小学校 2 年生 さんすう)

★ いえのなかのものをつかって、いろいろなかずのまとまりをつくってみましょう。

(1) つまようじなどを つかって 10 のまとまりを つくって みましょう。

(2) 25 ページを見て、10 のたば、7 のまとまり、3 のまとまりをつくってみましょう。

(3) 25 ページを見て、(2) でつくったたばと、まとまりをあわせて10のたばをつくってみましょう。

(4) 29 ページを見て、10 のたばをくずして、2 と8 などふたつのたばにわけてみましょう。

(5) つまようじなどを つかって、10 や20 や30 などのたばをつくったり、くずしたりしてみましょう。

保護者の皆様へ

低学年の算数の学習は、実際の物を操作する活動が大切です。問題には爪楊枝とかがいますが、ご家庭になれば、クリップやマッチ棒、厚紙を細く切った物などを使って操作活動をさせていただけると学校での授業につながる学習ができると思います。

(1) 10 のまとまりを作らせて下さい。1 と9, 2 と8, 3 と7... のように10 をつくるようにして下さい。できれば、10 の束を、輪ゴムなどで1つにしてください。位が上がることの理解につながります。

(2) 17 を10 と7 で考える活動です。

(3) 7 と3 で10 をつくり、10 の束がふたつで20 になる活動です。できそうなら  $18 + 2$  や  $11 + 9$  など20 になるたしざんを棒をつかってさせて下さい。

(4) 引き算に向けて、10 の束を崩す活動をさせて下さい。輪ゴムを外すことで位が下がることの理解につながります。

(5) 10 の束を作ったり、崩したりすることで、10 の位の理解を深めます。10 の束を意識することで、繰り上がり繰り下がりの理解につながります。

※算数の教科書にはQRコードが印刷されています。スマホ等で利用可能ですので、ご活用下さい。

